

THE RECORD 7

2000
No.488

- 店頭試聴実験結果報告
- カラオケ対策委員会 99年度REPORT発行
- 「日本のレコード産業2000年版」発行
- 各国のレコード売上（1999年）

店頭試聴機実験結果概要報告

当協会では、昨年来開発を進めていた「総合音楽データベースの開発と運用システム」の本格導入に先立ち、試聴実験を実施しました。実験内容、結果について、概要がまとまりましたのでご報告します。(詳しい実験結果内容は、8月下旬発行予定の機関誌特別号「EX Number Vol.10」に掲載予定です。)

今回の実験は、バーコードによる試聴機システム導入による販売促進効果を実証するために、以下の要領で実施し、対象店のPOSデータ(CD販売データ)およびログデータ(試聴記録データ)を、試聴機導入前と導入後について比較分析し、検証を行いました。

- 調査期間：平成12年2月1日～12年3月末日
- 実験担当：店頭試聴実験プロジェクト
(デジタル音楽情報委員会(MM-WG)・営業部会)
- 実験対象店：5社12店舗
(山野楽器、新星堂、JEUGIA、上新電機、ヤマギワ)
- 調査会社：(株)社会調査研究所

以下は検証内容および結果です。

1. POSデータによる導入前と導入後の販売伸び率調査および調査分析結果

調査および分析方法

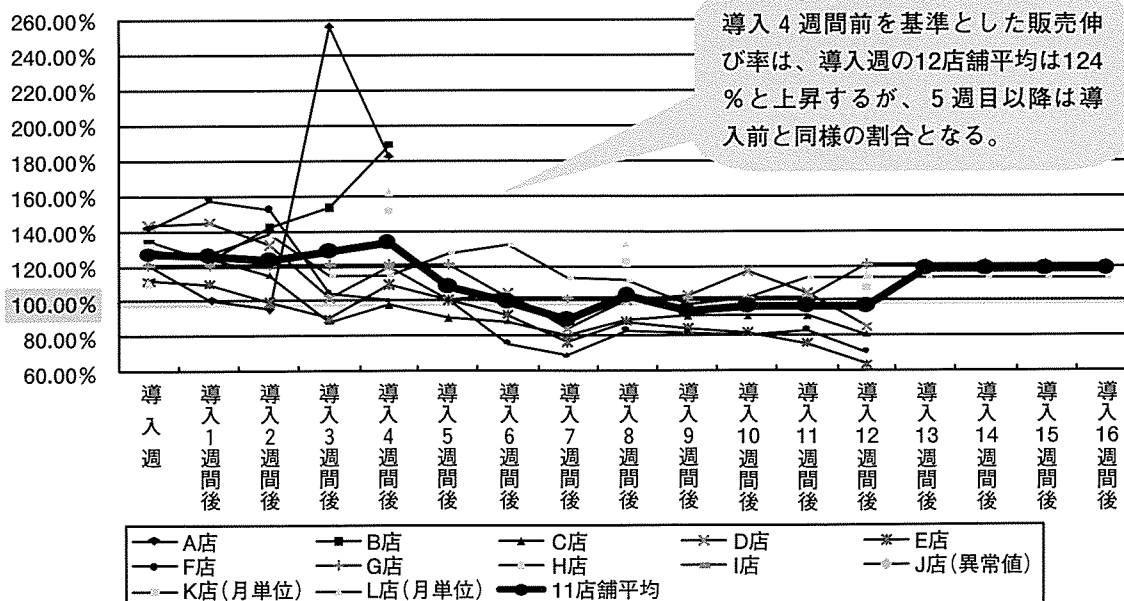
試聴可能な曲の売上を、POSデータを用い週単位で測定する。試聴機導入前と導入後の数字を比較し、導入後の伸びについては試聴機による効果と考える。

伸び率は、導入前4週間の試聴可能なCDの販売割合を基準(100%)とし、導入以降に基準よりどの程度購入率が伸びたかを計算する。

調査結果

試聴可能CDの販売伸び率は平均で120%であり、全体売上を1.3%上昇させた。

導入4週間前を基準とした試聴可能CD販売伸び率
(導入後試聴可能CD販売率/導入前4週間の試聴可能CDの平均販売率)



2. POSデータとログデータのマッチング（試聴機による販売）分析

調査および分析方法

同一時間帯におけるログデータとPOSデータを比較（マッチング）し、双方に同じ商品番号が見られる場合、「効果」とする。比較の基準は「1日単位」とし、マッチング数/販売本数をCD全体に対する販売増と考える。

調査結果

試聴ログとマッチングした販売数が全体販売に占める割合は、店舗によって傾向が2つに大きく分かれた。導入16週間までの6店舗の平均は2.2%であった。

3. 考察

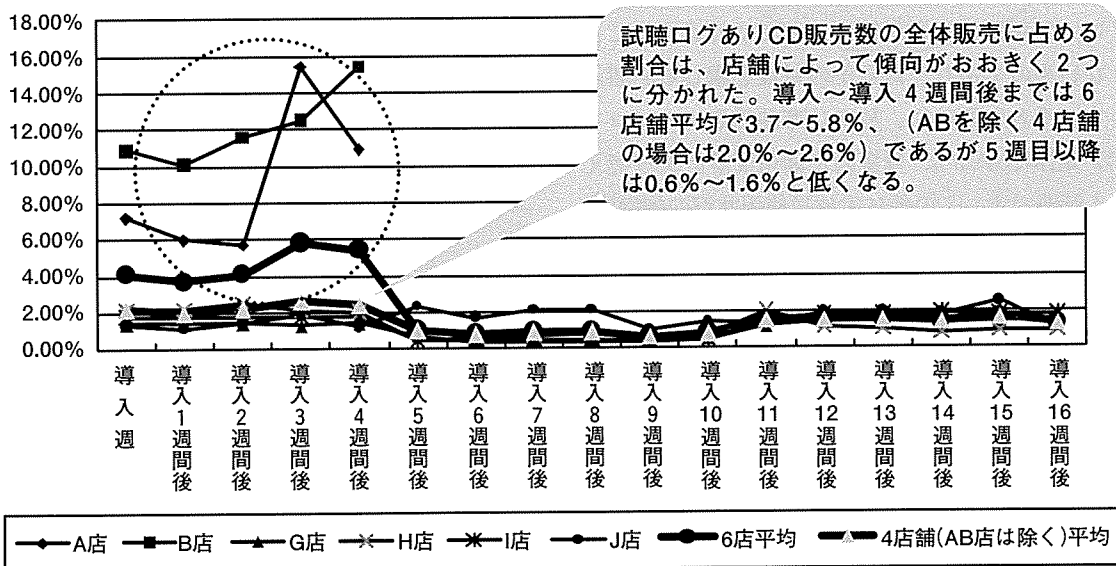
導入以降4週間後までは、販売伸び率は123%~134%と好調であるが、それ以降は導入前の販売状況に戻ってしまう。導入後一ヶ月で一通りのユーザーが試聴機を試し終わり、潜在的マーケットを掘り尽くした結果ではないかと考えられる。

4. 対策

以下のような対策が有効と考えられる。

- ・定期的に試聴可能な曲を増加する。
- ・定期的に推薦曲（ジャンル）キャンペーンを実施する。
- ・展示レイアウト変更による新規カテゴリーのアピールなど、単に置いておくだけではなく、継続的かつ積極的な販売ツールとして「お客にとって期待し続けられるような」工夫をする。

試聴ログありCD販売数の全体販売に占める割合
試聴可能CD販売枚数(ログあり：1日単位でマッチング)/全CD



「日本のレコード産業2000年版」を発行

当協会調査統計部会では、今年も「日本のレコード産業2000年版」（日本語版及び英語版）を一部刷新し、発行いたしました。

このパンフレットは、日本レコード産業の概容がわかるように、レコード生産統計の基礎データや関連資料を図や表にまとめ、見やすく編集しています。

本パンフレットの入手をご希望の方は、当協会業務部または総務部広報室までお問い合わせ下さい。

放送用音源管理プロジェクト開始

当協会は、放送用音源の供給と管理のための総合的なシステム構築に向けて実証実験を行い、放送用音源管理の事業化を目指します。

放送用音源管理プロジェクトに取り組む背景のひとつとして、音声放送(ラジオ)の多チャンネル化があります。2000年12月からBSニッテレ(2ch)、BSi(2ch)、BSフジ(2ch)、BS朝日(2ch)、BSジャパン(2ch)、WOWOW(2ch)、ミュージックバード(4ch)、JFN(4ch)、BSコミュニケーションズ(2ch)と、一気に全国エリアのBSデジタル音声放送がスタートします。また2003年からは地上波のデジタル放送もスタートし、既存のAM局、FM局には新たにデジタル放送の免許が与えられるほか、積極的に新規参入事業者にも解放される予定です。

しかし、新たなデジタル放送に関して現行の制作体制をとっていくことは、放送局にとって経費的に困難であり、自動選曲システムなど省力化の道を模索している状態です。一部の放送局では放送利用のための一時固定を拡大解釈して、音源サーバの導入を行っているところもあります。

こういった状況は権利者側にとっては看過することのできないものであり、何らかの対策を講じる必要があります。それと同時に、放送は楽曲の最大のプロモーション媒体でもあり、積極的に活用する方策を考えることも肝要です。この他にも放送使用状況の捕捉等、取り組むべき課題があり、これらを総合的に解決していくためにはIT(情報技術)の活用が不可欠です。そこで当協会の保有する放送用音源管理データベース(旧総合音楽データベース)が備えている、楽曲基本情報・音源・画像・許諾情報・利用状況の総合管理機能を利用することにより、権利者・放送局双方にとって合理的な仕組みを構築することを目標として、本プロジェクトに取り組んでいくこととなりました。

本プロジェクトでは次のような開発実証を行っていく予定です。

1. 電子透かしによる放送使用状況の捕捉

電子透かしの強度と音源品質の検証評価を行う。放送局内に設置するコンテンツ・サーバに蓄積する音楽コンテンツにあらかじめ電子透かしでISRCを挿入(エンコード)しておき、送出された放送電波を受信して電

子透かしを読みとる(デコード)ことにより、放送局・楽曲・放送日時のトラッキングを行う。トラッキング結果の集計・分計プログラムを開発することで、使用料の徴収および分配の基礎データが得られるほか、使用実績データにより、マーケティング分析を行うことが可能となる。

2. 放送局内に設置する、配信制御機能システム

放送局内に配信制御機能(カプセル化)システムを設置し、特定の相手にだけ放送用音源の使用権を与える等、コンテンツ利用を権利者側からコントロールすることが可能な環境を構築する。このシステムを利用してネットワーク経由で放送局に放送用音源を送り込み、蓄積・利用してもらう環境を開発する。これにより、放送局に向けてネットワーク経由で楽曲をプッシュしていくことができるため、見本盤の削減が可能となり、また見本盤の行き渡らないローカル局に対しても有効なプロモーションが可能となる。

3. 放送局利用標準アプリケーションの検証評価

放送のデジタル化等によって経営環境の悪化が懸念されている放送局にとって、番組制作体制の合理化への取り組みは必須であり、より少人数で運営できる制作システムが切望されている。そこで、電子キューシートによる番組制作システムや楽曲検索システム等を開発し、制作担当者や編成担当者が自分の端末で試聴したり、番組企画を立案することができる環境を作る。このシステム構築に積極的に関与していくことで、効果的なプロモーション方法を開拓していくことが可能。たとえば楽曲検索システムにタイアップ情報やヒットチャート実績情報、また情緒的な要素(雨の日向きの曲、楽しい雰囲気曲、など)やお薦め情報(キャッチコピー他)等を持たせれば、旧譜の掘り起こしや中堅アーティストの育成に役立つものと思われる。

当協会としては、本開発プロジェクトに3カ年で取り組んでいく計画であり、コスト削減のために郵政省補正事業とも連携しながら上記のスキームを平成12年度で消化した後、平成13、14年度で事業化に向けたコンソーシアム、アライアンスの形成や関連法規の検討、資金計画など、放送用音源管理・トラッキング事業の全国展開に向けた検討に発展させていく予定です。

カラオケ対策委員会

カラオケ対策委員会 99年度REPORT発行

カラオケ教室不法録音物対策委員会は、この程『今、愛する歌を守るために。1999年度不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーンREPORT』と題する事業報告書を発行しました。

当委員会が1997年5月に設立されてから「人に人権、音楽には著作権」「歌を愛するように、著作権も愛して下さい」「カラオケ教室のレッスンやカラオケ大会では、市販の商品をお使い下さい」というテーマを掲げ、『不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン』をカラオケ教室関係者のみならず広く一般大衆にわたるまで展開してきました。このREPORTはいままでの3年間の活動状況を振り返りまとめたものです。

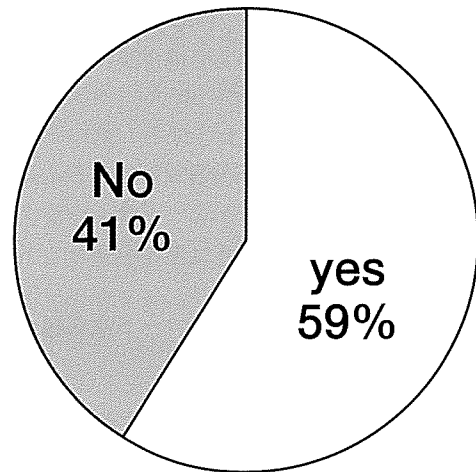
◎ 実施時期：1999年11月下旬～2000年3月末
◎ テーマ：「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーンについて」
◎ 対象：演歌・歌謡曲取扱いレコード店
(有回答359店)

【アンケート内容】

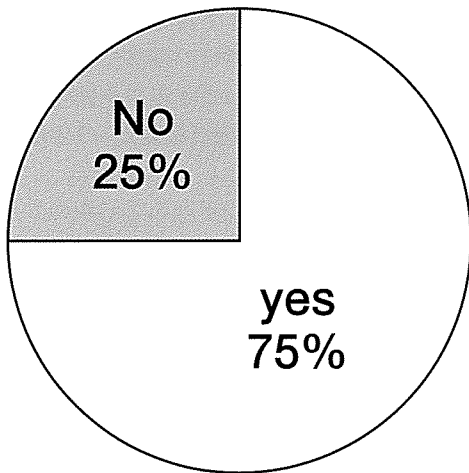
(下記①～③はYES・NOでの回答形式)

- ① 演歌・歌謡曲の売上状況について
- ② 「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」の効果について
- ③ カラオケ教室関係者による“まとめ買い”について
- ④ カラオケ対策委員会に対するご意見・ご要望
(フリーライト)

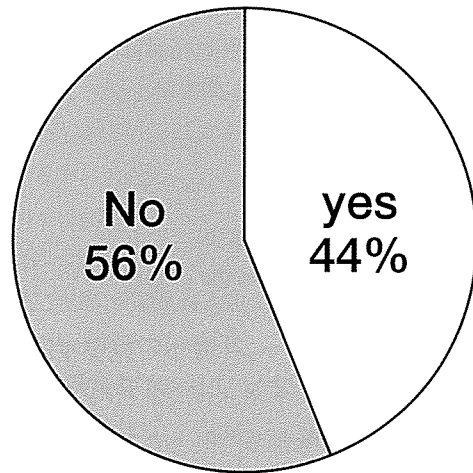
① 「演歌・歌謡曲」の売上は伸びている。



② 「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」の効果はある。



③ カラオケ教室関係者による“まとめ買い”が増えている。



〈調査プロジェクト報告より抜粋〉

同REPORT配布については、委員会の構成10団体やマスコミは勿論、巡回訪問などによる調査活動時やトーク&コンサートと著作権講習会などの広報活動を通じ、カラオケ教室関係者から一般の方にまで広く行う予定です。

入手をご希望の方は、当協会特別業務部までお問い合わせください。また、当協会のホームページ(<http://riaj-japan-music.or.jp/top.html/>)からダウンロードできますので、併せてご利用下さい。

廃盤セール・その他

第9回廃盤セールについて

今年で第9回目となる平成12年度廃盤セールの開催概要が決定致しました。

会場は例年同様東京江東区有明の東京ビッグサイトで、日本オーディオ協会主催のオーディオエキスポ2000との同時開催となります。

出品は、廃盤、輸入盤、時限再販切れ商品の3種です。また、音楽ギフトカード販売コーナーも設置する予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

以下にその概要をお知らせします。

■開催場所・日程

オーディオエキスポ2000会場併設特設スペース
東京ビッグサイト西1ホール
東京都江東区有明3-21-1
11月18日(土)、19日(日) AM10:30～PM 4:00

■主催

日本レコード協会加盟メーカー22社

■協賛

日本レコード協会、日本レコード商業組合、
全国レコード卸同業会

■セール名

「新品CD大ディスカウントフェア
～レコードファン感謝祭2000
廃盤特別謝恩セール～」

■入場料

無料

■価格

廃盤：定価の70%off

※その他、輸入盤及び時限再販経過商品を特価で販売する特設コーナーを設置します。

■オーディオエキスポ2000

日程：11月16～19日

主催：日本オーディオ協会

サイト：<http://www.jas-audio.or.jp/>

ビデオ共同キャンペーン「買って見タイ2001」 ～あなたが選ぶビデオソフト・オブ・ザ・イヤー～

当協会加盟各社の映像部門担当者で構成するビデオ部会では、今年度も「ビデオ共同キャンペーン“買って見タイ2001”～あなたが選ぶビデオソフト・オブ・ザ・イヤー」を実施致します。

このキャンペーンは、レコード販売店における映像商品の販売についてのユーザー認知拡大並びにキャンペーン参加商品の拡売を目的として、毎年年末年始期に実施しているもので、今回で6回目となりました。

近年は、年末年始恒例のキャンペーンとしてユーザーの認知も高まっており、昨年は約13,000通のハガキ投票がありました。

今年の各社参加作品はDVDビデオソフトが中心となっており、ユーザーへの景品もDVD機器が主体となっています。

以下にキャンペーンの概要をご紹介します。

「買って見タイ2001」概要

1. 実施期間

平成12年11月下旬～13年1月末日

(投票締切日：平成13年1月末日当日消印有効)

2. 各社の参加映像作品

合計36作品

3. 宣伝告知

キャンペーン参加レコード販売店で、ポスター、チラシ等で告知。

4. ユーザー特典

キャンペーン参加の36作品の中で欲しいと思う作品をハガキで投票してもらい、投票者の中から抽選で次の商品をプレゼント。

①DVD機器(据置型・一体型)とプレイステーション2を合計20名様に。

②音楽ギフトカード2,000円分を1,000名様に。

放送大学(教養学部)平成12年度 第2学期学生募集について

放送大学はテレビとラジオで授業を行う正規の大学です。入学試験はなく、1科目の履修でも入学が可能です。また、全科履修生として4年以上在学し、所定条件、単位を満たせば、「学士(教養)」の学位が取得できます。

現在、同大学では、平成12年度第2学期の学生を募集しています。募集期間は、6月15日(木)から8月15日(火)までです。

詳しくは、放送大学本部や学習センター、サテライトスペース、主な書店等で無料配布している学生募集要項をご覧ください。

資料は同大学ホームページからも請求できます。

【資料請求・お問い合わせ先】

放送大学本部 〒261-8790 千葉市美浜区若葉2-11

TEL 043-276-5111(代)

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp/hp>

FAX情報サービス 043-211-8351

24時間テレホンサービス 03-3580-4600

JASコンファレンス2000

6月7日(水)～9日(金)の三日間に亘り、湯島の全国家電気館ホールにおいて「第8回JASコンファレンス」が開催されました。

このコンファレンスは(社)日本オーディオ協会主催で、当協会の後援ならびに(社)日本音響学会、(社)日本電子機械工業会の協賛により、隔年で開催されるものです。

記念すべき2000年の開催となった今回は「21世紀その多様化するメディアとオーディオ」と題し、以下のように、様々な角度からオーディオを検証しました。

6月7日：21世紀のハイエンドオーディオ(注1)

技術発表1 ハイエンドオーディオ／
トランスデューサ(注2)

講演「ハイエンドオーディオの技術開発推進
上の課題」

「音と人間のかかわりとその変遷」

パネルディスカッション「ハイエンドオーディオの世界」

6月8日：デジタルとネットワークが創る21世紀オーディオ

技術発表2 デバイス

技術発表3 信号処理

技術発表4 シリコンオーディオ

講演

「次世代オーディオとこれからの著作権保護」

「ネットワークオーディオ」

パネルディスカッション

「ネットワークオーディオに期待するもの」

6月9日：オーディオが創る音環境

技術発表5 人に優しいオーディオ

技術発表6 マルチチャンネル収録技術

技術発表7 マルチチャンネル再生技術

講演「環境としての聴覚デザイン」

「BSデジタル放送の音声サービス」

8日の講演「次世代オーディオとこれからの著作権保護」は機関紙JASジャーナル1月、2月号に掲載されたものですが、コンファレンス事務局の強い要請により当協会北村技術部長が行いました。ハード関係者、雑誌関係者の多いなかで、今回のテーマは馴染みがないものでしたが、著作権保護に対するレコード産業の取組みの一端を説明する良い機会となりました。

当協会は今後とも積極的にこのような機会を利用し、ハード産業の方々への啓蒙活動に取り組んでいきます。

(注1) ハイエンドオーディオ：DVDオーディオやスーパーオーディオCDに代表される、高音質の音を損なうことなく再生することを目指すオーディオ。いわゆる高級オーディオと呼ばれるもので、価格・性能とも家庭用のものとは一線を画している。

(注2) トランスデューサ：音響変換機。電気信号を音波に変換するもの。例えば、スピーカがこれに相当する。

Jmusicサーチ

～洋楽アーティストオフィシャルリンク集～スタート

当協会インターネット部会において、かねてから準備を進めていた「洋楽アーティストオフィシャルリンク集」が、7月3日に稼働を開始しました。

各社の協力を得て、かなりの数のアーティストについて、リンク集に加えることができました。

是非、ご活用下さい。

Jmusicサーチ (<http://www.jmusic.ne.jp/>)

関係官庁人事異動について

<文化庁>

平成12年6月15日付

文化庁長官

佐々木 正峰 (前・文部省高等教育局長)

* 前任の林田英樹氏は国立科学博物館館長へ
文化庁次長

伊勢呂 裕史 (前・科学技術庁原始力安全局次長)

* 前任の近藤信司氏は文部省大臣官房長へ

<文部省>

平成12年6月15日付

事務次官

小野 元之 (前・文部省大臣官房長)

* 前任の佐藤禎一氏は勇退

<公正取引委員会>

平成12年6月26日付

事務総長

山田 昭雄 (前・経済取引局長)

経済取引局長

鈴木 孝之 (前・審査局特別審査部長)

経済取引局取引部長

植崎 憲安 (前・官房審議官)

* 前任の上杉秋則氏は審査局長へ

■アルバム (19作品)

【邦 楽】

●クワドラプル・プラチナ

A/浜崎あゆみ/1999.08.11 (AVT)

●ダブル・プラチナ

ブッチベスト～黄青あか～/モーニング娘。・中澤
ゆうこ・タンポポ・ブッチモニ・安倍なつみ/
2000.04.26 (EP)

●プラチナ

TUBEstⅢ/TUBE/2000.05.13 (SME)

●ゴールド

THE BEST/高橋真梨子/2000.03.23 (V)

Blooming Ivory/今井美樹/2000.04.14 (FL)

HARLEM JETS/BLANKEY JET CITY/
2000.05.10 (PO)Koyanagi the Covers PRODUCT 1/小柳ゆ
き/2000.05.24 (WJ)

【洋 楽】

●ダブル・プラチナ

～ザ・モスト・リラクシング～ フィール/V.A./
2000.03.23 (TO)

クラッシュ/ボン・ジョヴィ/2000.05.17 (UM)

ザ・グレイテスト・ヒッツ/ホイットニー・ヒュー
ストン/2000.05.20 (BMG)

●プラチナ

レフト・オブ・ザ・ミドル/ナタリー・インブルー
リア/1998.02.21 (BMG)東京ディズニーランド Club Disney Super
Dancin' Mania～メガビート/V.A./
2000.01.26 (AVT)ラブ・リング・ベスト/ダイアナ・ロス他/
2000.04.19 (TO)Oops!...I Did It Again/ブリトニー・スピア
ーズ/2000.05.03 (AVT)

●ゴールド

Club Disney Super Dancin' Mania～Disco

Fever/V.A./2000.03.29 (AVT)

No Strings Attached/'N SYNC/
2000.04.05 (AVT)THE HEAT/トニ・ブラクストン/2000.04.24
(BMG)ダンスマニア・デラックス4/E-ROTIC他/
2000.05.10 (TO)エンド・オブ・ザ・ロード～ボーイズⅡメン・バラ
ード・コレクション/ボーイズⅡメン/
2000.05.17 (UM)

■シングル (13作品)

【邦 楽】

●クワドラプル・プラチナ

Wait & See ～リスク～/宇多田ヒカル/
2000.04.19 (TO)

●ダブル・プラチナ

Stay by my side/倉木麻衣/2000.03.15
(GZ)Secret of my heart/倉木麻衣/2000.04.26
(GZ)ハッピーサマーウェディング/モーニング娘。/
2000.05.17 (EP)

●プラチナ

楽園/平井 堅/2000.01.19 (SME)

果てのない道/19 (ジューク)/2000.04.21
(V)

Far away/浜崎あゆみ/2000.05.17 (AVT)

May/B'z/2000.05.24 (BM)

●ゴールド

my greatest memories/上原多香子/
2000.04.19 (TF)

ホテル/スピッツ/2000.04.26 (PO)

why/平井 堅/2000.05.10 (SME)

IN THE WIND/V6/2000.05.10 (AVT)

嗚呼 青春の日々/ゆず/2000.05.31 (SN)

※AR: アンティノスレコード/AVT: エイベックス/BG: ビーグラムレコーズ/BM: ルームスレコーズ/BMG: BMGファンハウス/C: 日本コロムビア/CA: カナリー企画/CR: 日本クラウン/CT: カutting・エッジ/EP: ゼティマ/EW: イーストウエスト・ジャパン/FL: フォーライフレコード/GZ: ギザ/JB: ジャニーズ・エンタテインメント/JF: J-FRIENDS P./K: キングレコード/KT: キティエンタープライズ/ME: メルダック/MME: マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC: ポニーキャニオン/PG: ポリグラム/PI: パイオニアLDC/PO: ポリドール/PZ: ピザ・オブ・デス・レコーズ/SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN: SEHNA & CO./TE: テイチクエンタテインメント/TF: トイズ・ファクトリー/TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO: 東芝EMI/UM: ユニバーサルミュージック/V: ビクターエンタテインメント/VAP: バップ/WJ: ワーナーミュージック・ジャパン/ZA: ズァインレコーズ

映画業界団体と音楽業界団体、海賊版対策で協力

アメリカ映画協会 (MPA) と世界レコード産業連盟 (IFPI) は、海賊版光学ディスクやインターネット海賊版対策において、協力関係を強化し、情報を共有するための画期的な合意に達しました。IFPIとMPAの間で、公式にこのような合意に達し、了解覚書を交わすのは、初めてのことであります。

海賊版音楽および映画ソフトの製造と世界規模の流通は、世界中の合法的なマーケットとエンタテインメント産業に従事する人々の生活を脅かしています。

音楽およびオーディオビジュアル・ソフトの海賊版は近年、増加の一途をたどっています。これは、光学ディスクの製造能力の過剰と組織的な犯罪の広がりによるものです。海賊版音楽の売上は、全世界で45億USDに上ります。また、オーディオビジュアル・ソフトでは、海賊版による損失が昨年には25億USDを上回りました。

この了解覚書は、パッケージ形態の海賊版とインターネットを利用した海賊版の両方の対策において協力体制をとるという基本理念のもとに成り立っています。オンライン海賊版は、健全で合法的なオンラインビジネスの発展を目指す音楽産業およびオーディオビジュアル産業の努力を妨げるものであり、パッケージ形態の海賊版よりも潜在的には大きな脅威です。

了解覚書の主な目的は次の通りです。

- ・海賊版の調査に関連した情報を共有し、可能な部分で効率的な協力体制をとる
- ・海賊版を含む組織犯罪に対する対策において、それぞれの海賊対策実務職員をサポートする
- ・海賊版や知的所有権侵害に携わる海賊対策実務職員、裁判所職員および政府関係者の効率的な養成を行う機会を促進する

IFPIのJ.バーマン会長はこの協力体制について「著作物の海賊版は、あらゆる産業に影響を及ぼす全世界的なビジネスとなっている。今回の音楽産業と映画産業の協力体制は、目下の敵である光学ディスク海賊版に対する、画期的な第一歩である。我々の密接な協力関係は、より効果的な反海賊版対策と我々の会員社すべてにとって必ず良い結果をもたらすであろう」と述べています。(IFPI,MPAプレスリリース2000.6.5)

海賊版音楽CD売上、年間5億枚を超える

国際レコード産業連盟 (IFPI) が発表した違法音楽市場調査報告「Music Piracy Reports 2000」によると、全世界における海賊CDの販売数は年間5億枚を超えており、また、少なくとも2,500万の違法音楽ファイルがインターネット上から入手可能になっています。

海賊音楽市場の大部分は、今なおパッケージ形態の複製物が占めており、1999年の総計は41億USDです。その中には推計19億枚/本のCDとカセットが含まれています。しかし、CD-Rといった新たな海賊版の形態と同様、インターネット海賊は大きな脅威となっています。

IFPIの推計によると、19カ国において違法音楽複製物の売上数量が、合法的音楽複製物のそれを上回っています。また、東ヨーロッパとラテンアメリカの各国は、非常に高い国内海賊版比率を示しており、東南アジアは、世界へ海賊版を供給することが可能な高い生産能力を持つ地域となっています。

昨年、海賊CD-Rは驚異的な広がりを見せ、IFPIの初めての概算によると、1999年には、少なくとも6,000万枚の海賊CD-Rが世界中で販売されたと見られます。

工場においてプレスされた海賊CDの販売数 (海賊CD-Rを除く) は、昨年から13%増加し、4億5,000万枚となっています。海賊CD-Rを加えた海賊版音楽ディスクの売上総計は5億枚以上に達すると推計され、これは、世界中で販売されているCDの5枚に1枚が違法複製物であることを意味しています。

海賊カセットの売上は、昨年の16億本から今年は14億本へと減少しています。海賊CD-Rの製造と頒布は主に郡部で行われており、郡部の海賊カセットの製造業者が行ってきた役割を海賊CD-Rが引き継ぎ始めています。

違法CDの流通の増大は、光学ディスクの製造能力が世界規模で増大していることに起因しています。光学ディスクの製造能力は過去5年間で340%増加し、現在では、需要の倍量の製造が可能になっており、製造量は年間230億枚にも達しています。この製造能力の余剰が海賊CDの製造を助長しているのは明らかです。

※「Music Piracy Report 2000」はIFPIウェブサイトでも閲覧可能。

URL:<http://www.ifpi.org>

(IFPIプレスリリース2000.6.14)

会議メモ (主なもの)

(6月1日～6月30日)

6・1 著作権部会幹事会

JASRAC小委員会

6・5 情報システム部会幹事会

ビデオプロジェクト

6・8 JASRAC小委員会

ビデオ部会

6・10 レコード制作基準倫理委員会

6・10 インターネット部会サイト運

営洋楽WG

ISRC専門部会幹事会

6・13 再販問題研究プロジェクト

臨時営業部会

廃盤セールプロジェクト

6・14 インターネット部会

6・15 音楽ACP研究会

配信音楽著作権使用料WG

6・16 情報システム部会

6・20 デジタル音楽情報委員会

基礎知識講座プロジェクト

6・21 業務委員会

6・21 情報システム部会

洋楽宣伝専門部会

6・27 DISWG会議

法制委員会

技術幹事会

インターネット部会サイト運

営洋楽WG

6・28 調査統計部会

6・29 デジタル問題対策会議

全国総括室長会議

配信使用料交渉

6・30 理事会



レコード生産実績

2000年5月度(00年5月1日～00年5月31日)

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

	5月実績						2000年(1月～5月)累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シングル	8cm CD	邦	1,411	5	20	620	2	14	17,313	10	34	9,371	4	29
		洋	11	0	25	7	0	25	85	0	19	57	0	21
		計	1,422	5	20	627	2	14	17,398	10	33	9,428	4	29
	12cm CD	邦	9,407	30	229	7,479	20	240	38,933	22	211	30,791	13	225
		洋	80	0	77	70	0	82	395	0	64	335	0	66
		計	9,487	30	225	7,549	20	236	39,327	22	207	31,126	14	219
小計	邦	10,818	35	96	8,099	21	107	56,245	31	80	40,162	18	87	
	洋	91	0	62	77	0	68	480	0	45	392	0	50	
	計	10,909	35	95	8,176	22	107	56,725	32	80	40,554	18	87	
12cmCD アルバム	邦	11,918	38	76	18,258	48	64	85,978	48	110	139,630	61	102	
	洋	7,004	22	113	10,077	27	107	28,556	16	92	41,483	18	90	
	計	18,922	61	87	28,335	75	75	114,533	64	105	181,113	79	99	
CD 合計	邦	22,736	73	85	26,357	70	73	142,223	79	96	179,791	79	98	
	洋	7,095	23	112	10,154	27	107	29,036	16	91	41,876	18	89	
	計	29,831	96	90	36,511	97	80	171,259	95	95	221,667	97	96	
アナログ ディスク	邦	90	0	29	100	0	34	710	0	84	739	0	89	
	洋	27	0	48	38	0	53	136	0	68	213	0	73	
	計	117	0	32	138	0	38	846	0	81	952	0	85	
カセット テープ	邦	1,223	4	101	1,041	3	101	7,579	4	103	5,854	3	98	
	洋	4	0	30	5	0	38	51	0	98	43	0	91	
	計	1,226	4	100	1,045	3	100	7,630	4	103	5,897	3	98	
総合計	邦	24,048	77	85	27,498	73	74	150,512	84	96	186,384	82	98	
	洋	7,125	23	111	10,196	27	106	29,223	16	91	42,132	18	89	
	計	31,174	100	89	37,694	100	80	179,735	100	95	228,516	100	96	

表2. ビデオレコード

	5月実績						2000年(1月～5月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	990	44	364	2,574	37	389	6,248	38	458	14,495	32	444
LD・その他	212	9	71	473	7	71	1,557	10	82	3,221	7	68
テープ	1,052	47	53	3,864	56	78	8,426	52	92	27,170	61	92
合計	2,254	100	88	6,910	100	110	16,230	100	131	44,886	100	119

表3. オーディオ/ビデオ合計

	5月実績						2000年(1月～5月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	31,174	93	89	37,694	85	80	179,735	92	95	228,516	84	96
ビデオ	2,254	7	88	6,910	15	110	16,230	8	131	44,886	16	119
合計	33,428	100	89	44,605	100	84	195,965	100	97	273,403	100	100

<参考>表4. 複合型CD(CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	5月実績						2000年(1月～5月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	12,141	100	138	1,321	100	110	63,460	100	106	7,244	100	70
洋盤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12,141	100	138	1,321	100	109	63,460	100	106	7,244	100	70

備考 1. 本年実績は、会員会社「22社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

各国のレコード売上 (1999年)

本号は、IFPIの調査による72カ国のレコード売上のデータを使って、各国のレコード売上と国民1人当たりのレコード購入額を纏めました。

国名	シングル (百万枚)	LPs (百万枚)	MCs (百万巻)	CDs (百万枚)	ミニディスク (百万枚)	売上総額 (百万米ドル)	1人当り購入額 (米ドル)	<参考>人口 (百万人)
アメリカ	75.3	2.9	122.9	933.8	-	14,251.4	52.67	270.56
日本	128.1	8.2	6.6	264.9	0.2	6,436.6	50.92	126.41
イギリス	80.1	2.3	18.4	176.9	0.4	2,908.9	49.60	58.65
ドイツ	57.1	0.6	21.5	210.6	0.1	2,832.5	34.53	82.02
フランス	37.2	0.4	12.0	108.2	0.05	1,983.4	33.70	58.85
カナダ	0.9	-	7.1	71.7	-	883.6	29.16	30.30
ブラジル	0.2	-	0.03	96.9	-	668.4	4.13	161.79
オーストラリア	11.9	0.03	1.0	44.8	-	656.3	35.00	18.75
スペイン	2.4	0.03	10.7	51.8	-	639.5	16.24	39.37
メキシコ	0.5	0.1	19.7	52.9	-	626.0	6.53	95.83
イタリア	5.1	0.05	12.9	35.8	-	607.3	10.59	57.37
オランダ	5.4	0.2	0.3	33.5	-	522.1	33.28	15.69
スウェーデン	5.5	0.01	0.6	22.5	0.03	356.6	40.29	8.85
ベルギー	8.4	0.04	0.2	22.4	0.03	342.3	33.53	10.21
オーストリア	3.7	0.03	0.7	18.0	0.0	322.9	39.96	8.08
台湾	1.2	-	6.1	28.6	-	306.8	13.89	22.09
スイス	3.3	0.1	0.9	20.6	-	277.1	39.03	7.10
アルゼンチン	-	-	5.5	17.3	-	270.4	7.48	36.13
デンマーク	1.3	0.002	0.2	17.6	0.004	263.9	49.79	5.30
ノルウェー	1.7	-	0.3	14.6	0.01	260.9	58.89	4.43
韓国	0.03	0.001	21.4	14.3	-	235.8	5.08	46.43
南アフリカ	1.9	-	6.4	12.4	-	181.4	4.61	39.36
ポルトガル	1.0	-	2.9	12.9	-	176.8	17.91	9.87
インド	-	-	126.2	7.5	-	174.8	0.18	970.93
ポーランド	0.1	-	21.6	18.0	-	154.9	4.01	38.67
ロシア	-	0.1	95.0	8.0	-	153.1	1.04	146.54
フィンランド	0.5	0.003	0.8	10.1	0.04	128.6	24.97	5.15
トルコ	-	-	44.2	4.7	-	127.0	2.00	63.45
インドネシア	-	-	56.6	3.0	-	126.7	0.62	204.42
タイ	-	-	42.9	4.8	-	125.5	2.05	61.20
アイルランド	2.3	0.01	1.1	6.1	-	113.3	30.54	3.71
コロンビア	0.03	0.1	1.4	13.2	-	109.9	2.69	40.83
ニュージーランド	0.9	0.01	0.9	7.2	-	99.4	26.23	3.79
香港	0.2	-	0.1	9.7	-	98.9	14.78	6.69
ギリシャ	1.0	0.01	0.5	6.9	-	98.8	9.39	10.52
中国	0.02	-	64.4	7.4	-	94.0	0.07	1,255.7
チリ	0.01	-	3.4	4.8	-	76.2	5.14	14.82
ハンガリー	0.3	0.003	3.8	3.5	-	58.7	5.81	10.11
エジプト	-	-	25.0	0.2	-	55.1	0.84	65.98
イスラエル	-	-	0.3	4.3	-	54.8	9.19	5.96
ベネズエラ	0.01	-	0.2	4.2	-	52.9	2.26	23.44
マレーシア	0.1	-	6.1	3.3	-	52.8	2.38	22.18
チェコ	0.04	-	2.9	4.2	-	51.1	4.96	10.30
サウジアラビア	-	-	13.5	0.8	-	50.4	2.50	20.18
フィリピン	0.04	0.02	9.1	1.6	-	47.5	0.63	75.16
シンガポール	0.1	-	0.1	4.6	-	46.4	11.99	3.87
中央アメリカ	0.02	-	1.1	3.0	-	44.6	1.31	34.16
アラブ首長国連邦	-	-	4.4	1.8	-	39.1	14.38	2.72
スロベニア	-	-	0.5	1.0	-	20.3	10.25	1.98
キプロス	-	-	0.2	0.8	-	17.8	23.12	0.77
その他	0.5	0.351	54.07	10.4	0.116	226.0	0.70	324.6
合計	438.4	15.6	858.7	2,438.1	1.0	38,509.5	8.30	4,641.27

(注) 1. 米ドル換算レートは1999年の平均レートによる。
2. カセットシングル、CDシングルはシングルに含まれている。

サンプル盤、プロモーション盤の売買について

「サンプル」、「見本盤」等といったステッカーや刻印の表示があるCD等の録音物は、レコード会社がプロモーション等の目的で、試聴用として「貸与」しているものです。従って、そのサンプル等の所有権はレコード会社が有しているため、そのレコード会社に無断で譲渡や売買することができません。